

「聖霊によりおとめマリア」

「よって受肉し、人となり」

(ルカ1・26〜38)

一、聖霊によりおとめマリアよって受肉し

きょうは、ニカイア信条の第二項にあります(聖霊によりおとめマリアよって受肉し、人となり)を見てまいりませぬ。「受肉」とはキリスト教会の用語です。原典を見ますと、(肉体をとられた聖霊とおとめマリアにより(そして)人となり)という順番になっています。「肉体をとられた」とは、私たちと同じ姿になられたという意味です。聖書は、キリストが私たちと同じ肉体をとられたことについて、次のように語っています。三箇所ほど見てみたいと思います。

まずは、ガラテヤ人への手紙4章4節です。(しかし時が満ちて、神はご自分の御子を、女から生まれた者、律法の下にある者として遣わされました。)とあります。キリストは天からくだられたお方です。ですが、(女から生まれた者)と語られています。女から生まれた者とは何者でしょうか。そうです。私たちと同じ肉体を持った人という意味です。さらには、(律法の下にある者)と語られています。キリストが神であられるなら、律法の下にいかなくてもかまわないわけですが、キリストは律法の

下にある者として遣わされました。この、パウロが語った一文を見るだけでも、キリストは神であられ、私たちと同じ肉体をとられたと知ることができま

す。
二つ目は、ローマ人への手紙1章3節です。(御子は、肉によればダビデの子孫から生まれ)とあります。イエス・キリストは降って湧いたように、突然現れたものではありません。マタイの福音書1章に書かれているように、系図がありました。それは、ダビデの子孫という系図です。それが、(御子は、肉によればダビデの子孫から生まれ)の意味です。

三つ目は、ヨハネの福音書1章14節です。(ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。)とあります。原典を見ますと、(人)とは「肉」「肉体」です。

二、受肉し、人となり

それにしましても、ニカイア信条は(受肉し、人となり)と、どうしてこんなにくだい言い方と言いましょうか、くり返しのような表現になっているのでしょうか。それは、まことの神が人となられたことをはっきり表現するためであったと思われます。当時、イエス・キリストは肉体をとられたように見えただけでも、そのように見えただけであって、私たちと同じ肉体を持つておられなかったという受け止め方があり

ました。ギリシア思想によれば、肉体は善なるたましいを閉じ込めておく牢獄のようなものである、と捉えるきらいがあつたからです。そういう異端が、1世紀の時代から起きていました。ですから、ヨハネの手紙は語っています。

(ヨハネ4・2b〜3a)人となって来られたイエス・キリストを告白する霊はみな、神からのものです。イエスを告白しない霊はみな、神からのものではありません。)と。彼らは徒党を組んで教会から出て行ったようです。そういうことも書かれています。(ヨハネ2・19)彼らは私たちの中から出て行きましたが、もともと私たちの仲間ではなかったのです。もし仲間であつたなら、私たちのもとに、とどまつていたでしょう。しかし、出て行ったのは、彼らがみな私たちの仲間ではなかったことが明らかにされるためだったので。)と。

皆さまは、イエス・キリストはどのようなお方であつたと思われますか。ご在世当時のイエスさまはどのようなお姿、どのような顔をされていたでしょうか。私たちは、ヨーロッパ経由のキリスト教により、鼻筋の通った精悍なお顔を思い浮かべますが、実際はどうだつたでしょうか。大工、ないしは石工でしたから、がっちりしておられたと思います。人相は、悪くはなかったと思われます。ですが、聖画に描かれているような円光、ないしはオーラが見えたわ

けではないでしょうか。当時の弟子たちがイエスさまに、神であり人であられたお方と見ることは不可能であつたと思われます。もつとも、一度は山に登つて光り輝く姿になられたこともありませんが、日常は普通の姿であつたと思われます。それほどに、イエス・キリストは神でありながら、われわれと同じ肉体となられました。ですが、そのお方はまことの神が人となられたお方です。そして私たちのために十字架の道を歩まれたお方です。

三、奇跡を信じますか？

皆さまは、奇跡を信じますか。ですが、こういう質問をする際は、奇跡とは何かを決めておかないと意味がないですね。私は、奇跡とは、くり返されることのない不思議な出来事と捉えています。そういう意味では、処女マリアが聖霊によつて身ごもつたことは奇跡です。また、主イエスがよみがえつたことも奇跡です。さらには、自分という人間がこの世に生を受けたことも奇跡です。

私が考えますに、マリアの処女受胎を信じることで、キリストの復活信じることがつながつていると思ひます。どちらも、くり返されることのない、あり得ないことだからです。ですが、全能なる神にはできます。そういう意味で、私は奇跡を信じます。